

令和2年6月4・5日

松原中学校保護者様および
生徒の皆さんへ

春日井市立松原中学校
校長 小林 真

「重いカバン」の解消にむけて（H31.1月より実施）再配布

さて、昨今、小・中学生のいわゆる「重いカバン」の問題が、マスコミで取り上げられ、教育委員会が、その解消に向けて指導を行っている自治体もあります。その原因の一つは、教科書の大判化による重量の増加です。よりわかりやすい教科書とするためにカラー写真が多くなり、より見やすくするために教科書自体が大判化したことです。

この件については、多くの保護者の方から、改善を求めるご意見を頂戴しておりましたので、2学期当初より、全職員に現状を周知し、使用している教科書をはじめとした教材等について、持ち帰る必要性の検討を重ねてまいりました。その結果、年度始めに「学校（教室）に置いておいてよいもの」を子どもたちに提示する工夫だけでは、教科書の大判化による登下校時の子どもたちの、肩や腕にかかる負担を軽減することが難しい状態であることがわかりました。

そこで、体操服・水筒・給食用品（フキン・箸等）・タオル・ハンカチなど、衛生面を重視しなければならないものを除き、基本的に、教科書・資料集・ノート・教材類等については、3学期より、すべて学校（教室）に置いておいてもよいことに致します。各自で状況を判断し、その日の家庭での学習等に必要な物だけを持ち帰ることができるように、子どもたちの自主性を伸張する取り組みを行っていきます。

教科書等の学校（教室）保管を実施するにあたって、残念ながら、物品の保管場所が、教室の自分学習机の中と、教室後方のロッカーだけです。学校としては、ブックフォルダ等の設置や、週時間数が少ない教科の教科書の一括管理等を考えておりますが、当面、机の中とロッカーでの自己管理となりますので、子どもたちには整理整頓を心掛け、物品の紛失等がないように指導してまいりたいと存じます。当初は、学校から持ち帰る「忘れ物」が続出することが予想されますが、ご家庭でのご指導・ご協力をよろしくお願い申し上げます。上記のことにつきまして、下記にまとめさせていただきましたので、ご確認ください。

記

1. 基本的に、教科書・資料集・ノート・教材類等については、すべて学校（教室）に置いておいてもよい。（自己判断で、必要な物を持ち帰る）
2. 基本的に、自分の机の中と後方のロッカーに保管する。入りきらない場合は自分で考えて「自宅」で保管する。
3. 教科書等の紛失が起こらないように、机の中やロッカーの整理整頓を心がける。

※ このことに関して、新たな問題点が生じた場合については、子どもたちや保護者の皆様のご意見をお伺いして、方法を再考していきます。

荷物入れのロッカーを増設したので、「後方」を訂正しました。